

参加無料



横浜市獣医師会 市民フォーラム

動物から元気をもらおう

20<sup>th</sup>

横浜市獣医師会会員病院から推薦された、優良飼い主の方々に表彰状、記念品の贈呈をいたします。

**テーマ** 絶滅の危機に瀕した猛禽類との共生を目指して

～北海道における希少種保全の最前線から～

猛禽類医学研究所は釧路市を拠点に、保全医学の立場から絶滅の危機に瀕した猛禽類の救護や傷病原因の究明、調査研究、保全活動を行っている野生動物専門の獣医療機関です。傷ついた野生動物の救命に努めるとともに、彼らの苦痛や命を無駄にしないためにも怪我や病気の原因究明を徹底的に行い、人間活動が要因となっていた場合には、責任をもって再発防止に向けた対策を進めることはとても大切です。傷ついた動物を治すだけでなく、長年の人間活動により病んでしまった生態系や、人間と動物を育む自然環境を健全で安全なものへと治してゆく取り組みを、「環境治療」と名付けて活動の基軸にしています。

今回はその猛禽類医学研究所の代表をつとめる齊藤慶輔先生から絶滅の危機に瀕した猛禽類との共生に関して解説して頂き、市民の方々と一緒に希少種保全の問題について考えたいと思います。

**講師** 北海道 猛禽類医学研究所 齊藤 慶輔



齊藤慶輔(さいとう けいすけ)1965年生まれ、日本獣医畜産大学 野生動物学教室卒業。幼少時代をフランスの田園地帯で過ごし、野生動物と人間の共生を肌で感じた生活を送る。1994年より環境省釧路湿原野生生物保護センターで野生動物専門の獣医師として活動を開始。2005年に同センターを拠点とする猛禽類医学研究所を設立、その代表を務める。絶滅の危機に瀕した猛禽類の保護活動の一環として、傷病鳥の治療と野生復帰に努めるのに加え、保全医学の立場から環境保全や調査研究を行う。近年、傷病・死亡原因を徹底的に究明し、その予防のための生息環境の改善を「環境治療」と命名し、活動の主軸としている。テレビ番組プロフェッショナル仕事の流儀、ソロモン流、ダーウィンが来た！、ワイルドライフ、SWITCHインタビュー達人達、などで活動が取り上げられた。著書「野生動物のお医者さん(講談社)」で第57回産経児童出版文化賞を受賞。

**役職**

- 環境省 シマフクロウ保護増殖分科会検討委員
- 環境省 オオワシ・オジロワシ保護増殖分科会検討委員
- 環境省 希少野生動物植物種保存推進員
- 日本野生動物医学学会 理事
- 世界野生動物獣医師協会(WAWV) 理事 他役職多数
- 野生動物救護研究会 理事
- 北海道ラプターリサーチ代表
- ワシ類鉛中毒ネットワーク副代表
- (一財)クリステル・ヴィ・アンサンプル アドバイザー

**著書・訳書**

- 野生動物救護ハンドブック(共著) 1996 文永堂出版
- Raptor Biomedicine Ⅲ(共著) 2001 Zoological Education Network
- 生態学からみた野生生物の保護と法律2003(財)日本自然保護協会編 講談社
- 野生動物の医学(共訳) 2007 文永堂出版
- 日本の希少鳥類を守る 2009 京都大学学術出版会
- 猛禽類学(共訳) 2009 文永堂出版
- 野生動物のお医者さん 2009 講談社
- The eagle watchers(共著) 2010 Cornell University Press
- オホーツクの生態系とその保全(共著) 2013 北海道大学出版会
- 野生の猛禽を診る 2014 北海道新聞社
- 命の意味 命のしるし(共著) 2017 講談社

**日時**

2024年3月10日 日

- ▶受付開始 13:00
- ▶講演時間 13:30～15:15
- ▶優良飼い主表彰 15:30～16:15

**会場**

横浜市社会福祉センターホール

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
横浜市健康福祉総合センター4階

☎ 045-201-2060

**アクセス**

- JR京浜東北・根岸線
- 横浜市営地下鉄(ブルーライン) 桜木町駅下車徒歩3分

主催：公益社団法人 横浜市獣医師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町 14-3 神奈川県畜産センター内  
TEL : 045-751-5032